

平成30年度マンション総合調査概要資料の修正について

修正後

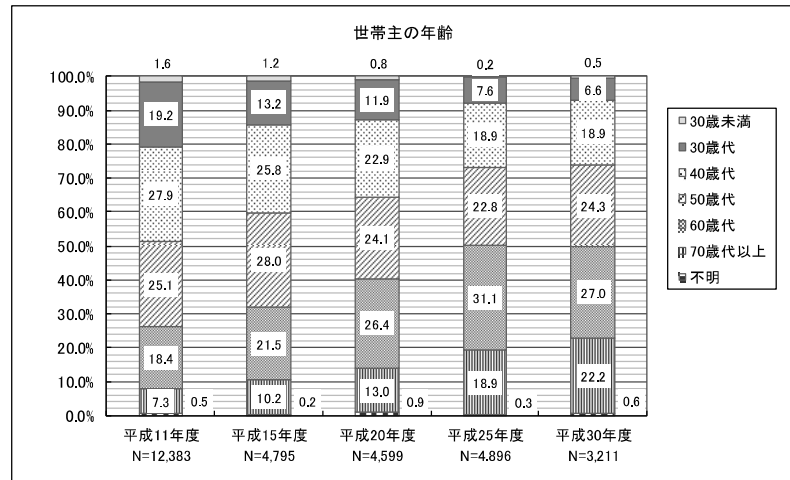
平成30年度マンション総合調査結果からみたマンション居住と管理の現状

注) [] は調査結果の該当表番号を記している。
[管] は管理組向け調査、[区] は区分所有者向け調査を表す。

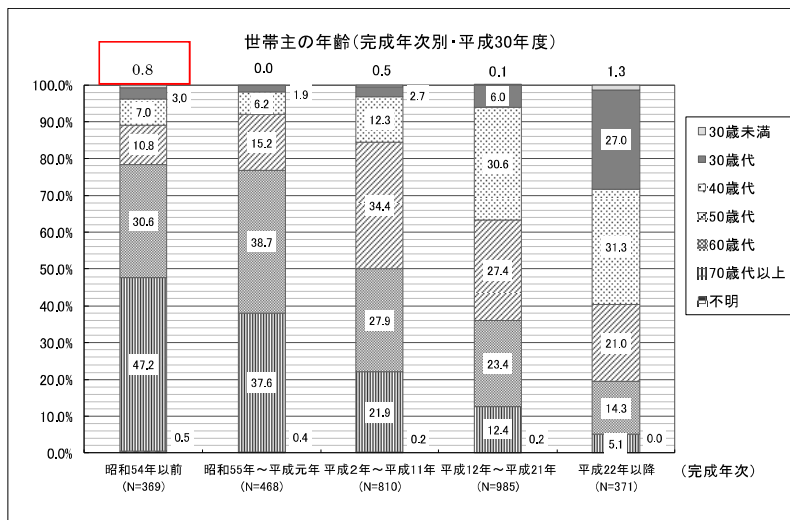
1. マンション居住の状況

(1) 世帯主の年齢[区1]

平成25年度と平成30年度を比較すると、70歳以上の割合が増加する一方、30歳代以下の割合が減少している。平成11年度から平成30年度の変化をみると、60歳代、70歳代以上の割合が増加、50歳代以下の割合が減少しており、居住者の高齢化の進展がうかがわれる。



平成30年度における完成年次別内訳をみると、完成年次が古いマンションほど70歳以上の割合が高くなっており、昭和54年以前のマンションにおける70歳以上の割合は47.2%となっている。



修正前

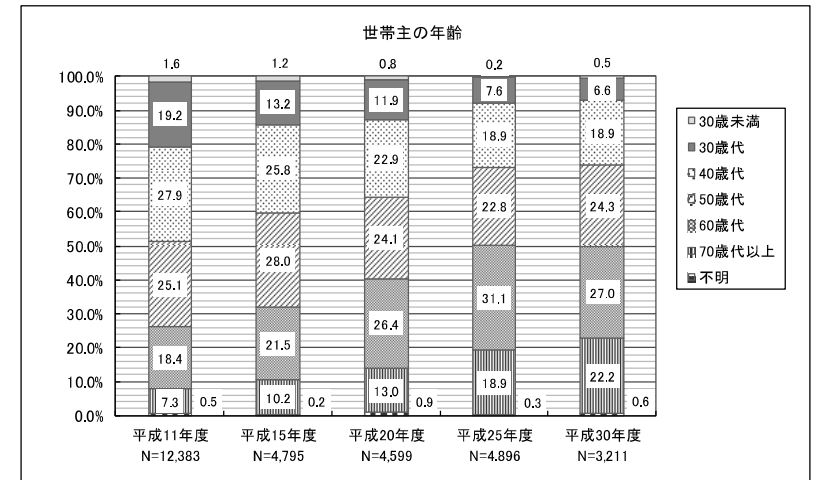
平成30年度マンション総合調査結果からみたマンション居住と管理の現状

注) [] は調査結果の該当表番号を記している。
[管] は管理組向け調査、[区] は区分所有者向け調査を表す。

1. マンション居住の状況

(1) 世帯主の年齢[区1]

平成25年度と平成30年度を比較すると、70歳以上の割合が増加する一方、30歳代以下の割合が減少している。平成11年度から平成30年度の変化をみると、60歳代、70歳代以上の割合が増加、50歳代以下の割合が減少しており、居住者の高齢化の進展がうかがわれる。



平成30年度における完成年次別内訳をみると、完成年次が古いマンションほど70歳以上の割合が高くなっており、昭和54年以前のマンションにおける70歳以上の割合は47.2%となっている。

